



「英語の超人になる！ アルク学参シリーズ」新刊

『重ね読み式 3ループ・リーディング』

- 重ねて読むから語彙力・文法力・読解力がつく！ -

< 2009 年 10 月 1 日 (木) 発売 >

株式会社アルク(東京都杉並区永福 代表:平本 照麿、以下アルク)より、新刊『重ね読み式 3ループ・リーディング』のご案内を申し上げます。

入り口は日本語でも出口は英語
「和訳先読み」+「重ね読み」で頭に英語を残す



【本体】1,600 円(税込 1,680 円)
【ISBN】978-4-7574-1621-5
【頁数】328 ページ
【サイズ】A5 判 【CD】1 枚(60 分)

著者:金谷 憲(かなたに・けん) プロフィール

1948 年東京生まれ。東京大学大学院博士課程単位取得退学。スタンフォード大学博士課程単位取得退学。専門は第 2 言語獲得におけるインプット研究、英作文のフィードバックの効果研究、その他、実践的な指導法、英語教員養成など。主な著書に、『高校英語教育を変える和訳先渡し授業の試み』(三省堂)、『英語教育熱』(研究社)など、監修通信講座に『挑戦 900 点 TOEIC(R) テスト攻略プログラム』、『ボキャビルマラソン・パワーアップコース』(以上、アルク)などがある。

「和訳先渡し授業」という、一部の高校で行われている英語の授業方式があるのをご存知でしょうか。生徒たちに先に和訳を渡すことで、授業を活性化させようというのがその主な目的で、東京学芸大学教授の金谷憲先生を中心に取組まれてきています。

本書『重ね読み式 3ループ・リーディング』は、そのメソッドを継承し、自宅学習でも「和訳先読み」が実践できるように作られています。

和訳を先に読むメリットは何か。それは、「頭に日本語ではなく英語が残ることだ」と監修の金谷先生は言います。苦勞して和訳をすると、勉強をした気分にはなれますが、英語ではなく、日本語の方が頭に残ってしまいがちです。そこで、「和訳先読み」をして、それが英語でどう表現されているのかに着目して英文を読むことで、頭に日本語ではなく、英語を残そうというのがこの本なのです。

■ 同じ英文を 3 回読むから語彙と文法が定着する

本書は、LOOP1、LOOP2、LOOP3 の 3 パートに別れており、それぞれに同じ 48 の英文を収録しています。少し時間をあけて**同じ英文を読むことで、語彙や重要構文、文法ポイントをしっかりと定着させることが可能**です。



【LOOP1】
和訳で内容を理解してから英文を読む



【LOOP2】
重要語彙を意識しながら自力で内容を理解できるように読む



【LOOP3】
本文とは異なる表現で内容を説明できる力も求められ、さらなる理解が必要

■ 英文は入試問題を徹底分析して厳選

英文は、すべて 2000 年以降の大学入試に出題された英文を徹底的にコーパス分析し、使用頻度が高い語彙や文法項目を含む英文を厳選。そのため、**絶対に覚えておきたい語彙、文法項目を効率よく学べます**。さらに、入試に頻出のテーマを集めているので、そこでよく使われる語彙や表現が身につく、**出題されやすい英文形式に慣れる**こともできます。

見本書のご請求、本リリースへのお問合せは
下記までご連絡ください。

株式会社アルク 広報部 (担当:河合)

電話:03-3323-3521 FAX:03-3327-3971 e-mail: menet@alc.co.jp

アルクの学参シリーズは、大学受験英語の学習を通して、英語でコミュニケーションが取れる人材の育成を目的に刊行しています。